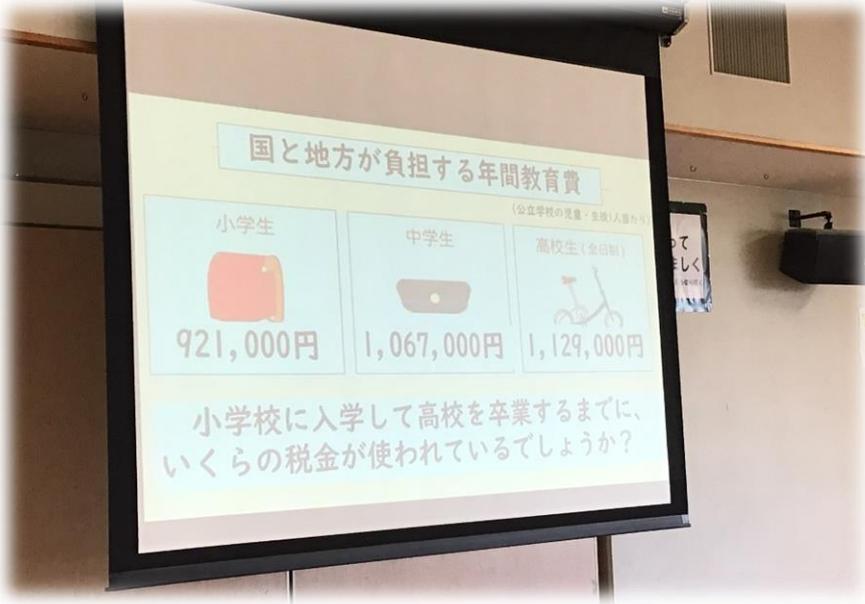


令和7年 1月 28日(火)

9年生 租税教室



令和6年度 岐阜県版 中学校学習指導要領準拠 公民資料

Hello Tax ハロー・タックス

税金が使われている身近なもの

中山道広葉菜産地(恵那市) 多治見警察署(多治見市) みんなの森まらみティクスモス(岐阜市) 寄居団地駐車場
防災ヘリコプター(恵那) 大垣消防総合本部(中津川市) 東濃警察自動車道(関市) 寄居団地 岐阜県道事務所

Tax Quiz タクスタクイズ (解答は10ページにあります。)

Q1 カリコ1人あたりの代金(全国平均価格174円/4mm)に含まれる税金はおおよそいくらか？(消費税を除く)
① 37円 ② 57円 ③ 77円

Q2 国の収入(歳入)のうち、税金の占める割合はおよそ何パーセントでしょうか？
① 30% ② 60% ③ 90%

Q3 中学生一人あたりの教育費に1か月おおよそいくらの税金が使われているでしょうか？
① 22,300円 ② 44,600円 ③ 88,900円

目次

①わたしたちの暮らしと税金	1	⑤日本の現状と課題	5
②財政の役割と機能	2	⑥岐阜県の財政(歳入・歳出)	6
③税金の種類と仕組み	3-4	⑦教育や福祉と税金	7
④国の財政(歳入・歳出)	5	⑧日本の税金と外国の税金	8
		⑨これからの税制を考えてみよう	9-10

社会科「私たちの生活と財政」の学習の一環として、岐阜北税務署広報官の岩田雄一さんに、税金の説明と納税の大切さについて講演していただきました。

実際に税金を扱う仕事をされている岩田さんから話を伺う中で、義務教育段階にある自分たちに多額の税金が使われていることを知り、驚きの声が上がっていました。

講演後の感想では、社会科の学習で考えた少子高齢化とつなぎながら、高負担、高福祉を求めするのか、それとも低負担、低福祉を求めるのかまで考えるなど、どの子も今後の税のあり方について自分事として考えることができました。